

地域担当連絡員制度の 担当職員一部変更のお知らせ

4月1日の人事異動に伴い、地域担当連絡員(職員)の配置が一部変更となりました。自治会単位で地域が抱える問題や、制度などについて要望等がありましたら、担当職員にお電話ください。

<p>幸町・本町</p>  <p>藤田 恭 津別消防署長 ☎76-2189</p>	<p>西町・東町</p>  <p>仁部 真由美 保健福祉課長補佐 ☎76-2151 内線256</p>	<p>新町・旭町1</p>  <p>丸尾 達也 総務課長補佐 ☎76-2151 内線207</p>	<p>旭町2・旭町3</p>  <p>加藤 端陽 住民企画課長補佐 ☎76-2151 内線246</p>
<p>柏町・高台町</p>  <p>森井 研児 住民企画課長 ☎76-2151 内線214</p>	<p>達美町・緑町1</p>  <p>千葉 誠 保健福祉課長補佐 ☎76-2151 内線313</p>	<p>緑町2・緑町3</p>  <p>小野 淳子 保健福祉課長 ☎76-2151 内線316</p>	<p>共和2・共和3</p>  <p>近野 幸彦 総務課長 ☎76-2151 内線206</p>
<p>豊永3・豊永4</p>  <p>石川 勝己 建設課長補佐 ☎76-2151 内線245</p>	<p>東岡・活汲1・活汲3・ 活汲中央・岩富</p>  <p>松木 幸次 住民企画課長補佐 ☎76-2151 内線311</p>	<p>東達美・達美・西達美・上最上・下最上</p>  <p>石川 波江 生涯学習課長補佐 ☎76-2151 (中央公民館)</p>  <p>小泉 政敏 産業振興課長補佐 ☎77-3771 (さんさん館)</p>	<p>高台1・高台2・豊永1</p>  <p>藤原 勝美 生涯学習課長 ☎76-2151 内線270</p>
<p>下美都・上美都・上里</p>  <p>中橋 正典 住民企画課長補佐 ☎76-2151 内線213</p>	<p>共和1・恩根1・恩根中央</p>  <p>宮脇 史行 監査・選管事務局次長 ☎76-2151 内線268</p>	<p>双葉・沼沢・本岐市街・本岐2・木樋・二又・大昭</p>  <p>五十嵐 正美 会計課長 ☎76-2151 内線203</p>  <p>迫田 久 産業振興課長補佐 ☎76-2151 内線257</p>	<p>布川・相生中央・相生2</p>  <p>齊藤 昭一 議会・監査事務局長 ☎76-2151 内線265</p>

■地域担当連絡員制度についてのお問い合わせは、住民企画課長補佐 中橋正典 ☎76-2151 (内線213) までご連絡ください。

地方創生の 取り組み 19

地域疲弊の悪循環を断ち切るには
人口減少⇓購買力低下⇓地域経済縮小⇓雇用減少⇓更なる人口減少…これは疲弊する地域の悪循環を示したものです。これをどこで断ち切るかとなると、人口や雇用は簡単に増やせるものではありません。もちろん他の要素も簡単にはありませんが、購買力は改善が見込めます。それは外に向けている購買力を町内に引き戻すという事です。町内での消費が増えれば地域経済の規模も少しずつ改善し、雇用と人口にも影響し好循環に切り替わると考えられます。

北海道つべつまちづくり(株) 移住・定住サポートデスクを開設します

近年、多くの自治体では積極的にイターンUターンなどの移住者を受け入れる対策を実施しており「移住コンシェルジュ」の設置が各地で行われています。津別町では今まで、移住者対応についての窓口はあったものの、就労や起業、住まいに関する事、暮らしに関する事など各種の相談は、それぞれ別の係が担当するなど、移住者を心地よく受け入れる体制が整っていないと、言い難い状態でした。

また、移住者を積極的に迎え入れるための施策も多くは取られてきませんでしたが、これらの移住施策について、町は北海道つべつまちづくり(株)以下「まちづくり会社」に移住窓口の運営を委託し、移住に関する総合的な窓口を設置し、移住対策の強化を図っていくことといたしました。

今後、まちづくり会社では単なる移住相談だけでなく、

「チャレンジ・ツベツ」のホームページ <https://tsubetsu-ju.com/> ならず、空き家バンクを活用し住まいや事業所などに活用できる物件の紹介や、就労・起業の支援、暮らしのサポートをしながら移住者が地域コミュニティへ参画しやすい環境づくり、また、東京など大都市で開催される移住促進イベントへも参加し積極的に移住者獲得や移住者予備軍の掘り起こしなど、多角的に移住に関する支援や情報提供を行うトータルサポートデスクを展開していきます。

「チャレンジ・ツベツ」のホームページ <https://tsubetsu-ju.com/>

QRコードが読み取れる機器をご使用の際は、ここからアクセスしてください。▼



津別町空き家バンク ホームページが新しくなりました

移住と深く関わりのある住まいの情報も「津別町空き家バンク」として情報提供のホームページをリニューアルしています。今までは物件の所在や大きさなど文字で示していただけでしたが、刷新後は物件ごとに特徴や間取り図、そして多くの写真と共に掲載しており、民間の不動産業のホームページのように見やすくなっています。

このサイトを見て、津別へ移住や事業所開設などの相談も寄せられており、更なる移住者の呼び込みにも効果が表れ始めています。今後町としては、まちづくり会社と協力しながら、新たな物件の掘り起こしを進めていくため、昨年度も実施した空き家相談会なども予定しています。

「津別町空き家バンク」のホームページ <https://www.tsubetsu-estate.com/>

QRコードが読み取れる機器をご使用の際は、ここからアクセスしてください。▼



気になる用語説明⑫
【移住コンシェルジュ】
最近よく耳にするコンシェルジュという言葉ですが、案内人や世話係という意味です。移住コンシェルジュであれば移住に関して、相談者の希望や知りたい情報を提供する役割の人を指しますが、町では単なる世話係だけではなく、移住者に寄り添う形で、思いの実現に向け応援する伴走者の役割を担っています。

問い合わせ先
住民企画課地方創生係
☎76-2151 (内線241)
e-mail: tsubetsusei@gmail.com